

市史発刊にあたって

平成二年の市制二十周年の記念事業として、昭和五十八年に福生市史編さん委員会が組織され、福生市史編さん事業が開始されました。翌年には編さん室も組織され、行政の対応も固まり、資料調査や研究活動が本格化しました。

当初の刊行計画では、通史と資料集五冊、それに研究誌でした。

市史の刊行にあたっては、科学的であり、学問的にも一定水準を保ち、永く活用し続けられるものであることを基本とし、しかも読みやすいことを目指しました。

それまで福生市域に所在が確認されていた資料は、文化財調査会をはじめとする郷土史研究グループや郷土資料室の努力で調査は進んでいました。しかし、市内の聞き取り調査や市史編さんの資料所在調査の過程で、新たに発見された資料は福生市域の歴史を考えるうえで貴重なものであり、これらの調査研究に時間を要し、市制二十周年を目標とした刊行計画を何度か変更し、資料集の巻数も増や

さざるをえませんでした。

こうした努力の積み重ねの中で、通史の刊行を迎えることとなり、市史編さんの一委員としても喜びに絶えないのがあります。

このようにしてできた『福生市史』が郷土の歴史を学ぶ教材として、学校や地域で多くの方に読まれ、福生市を理解し、郷土愛を深めるうえで役立てられ、また福生市の未来の指標となれば幸いです。最後に、当初から市史編さんにご努力いただいた初代会長田村半十郎、二代会長石川彌八郎の両氏をはじめ、委員各位に感謝申し上げますとともに、貴重な資料を提供して下さいました所蔵者ならびに関係諸機関に厚く御礼申し上げます。

また、編集専門委員の先生方をはじめ、調査研究、執筆にあたられた多くの関係する方々に厚く御礼申し上げます。

この後下巻の刊行もございますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

平成五年六月

福生市史編さん委員会 会長 野島 茂雄